

2014年11月10日

～ 毎月10日は「人権を考える日」～

西条市人権・同和教育地区別懇談会（学習会）で学んだこと

今年も人権・同和教育地区別懇談会が（7月から）始まりました。開催に当たり、関係者が事前に集まり地区別懇談会の持ち方や資料等について話し合いました。各公民館では、地域の実態にあった資料を用い啓発活動を推進しています。多くの市民の皆さんの出席を心待ちにしています。

それでは、もうすでに人権・同和教育地区別懇談会が実施されたそれぞれの公民館から、差別解消に向けた参加者の「思い」や「学び」の一部をアンケートから紹介いたします。

- 身近な人権の問題について考えることができた。自分の心の中の差別心がまわりを不幸にし、自分も不幸にしていくことがビデオを通して理解できた。これからは、何事も真実は何かを自分で考え、正しい行動をとりたい。（参加 3回以上）
- 正しい人権感覚を持つこと。そして、年齢に関係なく、常に人権問題を学習し、おかしいことがおかしいと言えるようにしたい。（参加 3回以上）
- 企画・進行・内容がしっかりと整理されていてよくわかりました。参加して本当に良かったです。同和問題を正しく認識できました。（参加 3回以上）
- 正しいことを知らないから、間違った偏見や思い込みをしてしまう。これからも、正しいことを学び、人権感覚を磨き行動したい。（参加 3回以上）
- 風評や人の言葉に惑わされず、人とのつながりを大切にし、おかしいことはおかしいと言えるように行動したい。（参加 1回目）
- 久しぶりに、真剣に、いいビデオを見せてもらった。またの機会に、再度この映画を上映してほしい。偏見や差別はどうみてもおかしい。偏見や思い込みは絶対なくするようになりたい。（参加 3回以上）

紙面の関係で一部を紹介させていただきました。使用した啓発ビデオは、①「人権を行動する」：内容は、セクシャルハラスメント、個人情報、同和問題です。②「ほんとの空」：内容は、高齢者・障がい者の人権、外国人に対する排除、同和問題と人権、風評被害、いじめ問題です。

アンケートにもありましたように「正しいことを学び（知的理解）、差別に気づき（人権感覚）、差別する人をなくす（人権意識）」ことが、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決していくためには必要不可欠なことではないでしょうか。